

講演

世界におけるこれからの歯科医療

—国際交流から国際活動への道—

井上 孝

●抄 録●

現在、先進国を取り巻く環境は、国際競争の激化に加えて、社会的・経済的・技術的成長に伴い、歯科保健医療環境も凄まじい早さで変化している。また、発展途上国も口腔健康について真摯に取り組み始めている。

これからは、先進国、発展途上国を問わず、国民の健康維持に関わる歯科医療と、それを支える歯科医師養成の重要性が求められている。つまり歯科医療は「従来の歯科治療から予防・管理、さらには口腔健康から全身健康」へ変化することを世界中の国民が求めている。

さて、「国際化」が叫ばれ始めてから、時は流れた。現在「国際化」は単なる人の行き来を意味する「国際交流」ではなく、実質的な動きを伴う「国際活動」であるべきと考えている。すなわち、歯科領域において実質的な諸外国との協力体制を構築する必要がある。海外からの教育者、研究者、そして臨床医にとって、日本をはじめとする先進国が歯科拠点となる必要がある。そのため、日本では、それを代表する人材の育成に力を入れる必要がある。

キーワード：世界歯科連盟、口腔健康、国際活動、発展途上国

日本を始めとする先進国の歯科保健医療環境は、社会的・経済的・技術的成長に伴い凄まじい速さで変化を示している。我が国では、う蝕・歯周病を治療してきた従来の健康型から、予防・管理に移行して、さらには口腔健康から全身健康へと高齢者型に移行している。しかし、多くの発展途上国では、う蝕は未だに大きな問題である(図1)。それにも関わらず、一国にわずか数十名の歯科医師しかいないような国も少なくない。また、アマルガムの需要も未だに多く、水俣条

約に署名する国は増えているものの、名ばかりで実は無いことが多い。

昔から「国際化」は叫ばれているが、従来の国際化は、人の往来を意味していたように思える。今求めら

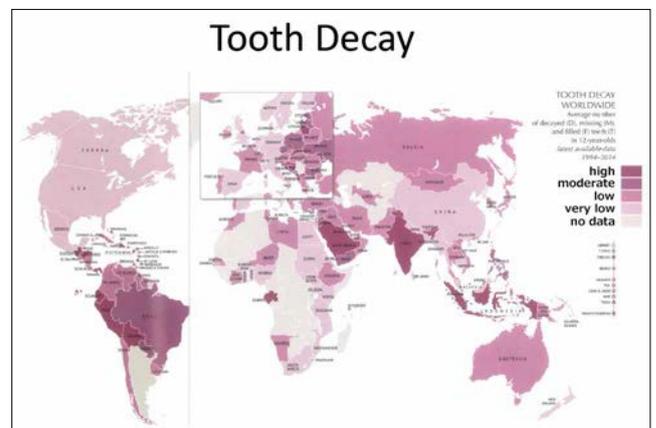


図1 世界齲齦状況 (1994-2014)

Fig. 1 Tooth Decay Worldwide
(The Oral Health Atlas, 2nd. ed.)

※冬期学会講師



(いのうえ・たかし)
東京歯科大学臨床検査病理学講座 主任教授
日本歯科医学会副会長
(現) 東京歯科大学 特任教授・名誉教授
東京医学技術専門学校 副校長
FDI理事
日本歯科医師会国際渉外委員会副委員長



図2 FDI会員支援

Fig. 2 Member Support of FDI



図3 FDI情報インターネット配信

Fig. 3 FDI Web site

れているのは、実質的な諸外国との協力体制を構築することが望まれている。発展途上国からの臨床医・研究者・教育者達を受け入れるための拠点になる必要がある。そして、日本の若者を含め、人材の育成を行う国際化が必要だと思う。その活動場所としてFDIは格好の場所であることは間違いない。

I. FDIとは

FDI (World Dental Federation ; 世界歯科医師連盟) は、1900年フランスのCharles Godonにより設立された。FDIは、非政府機関で、WHO (国際保健機関) やUN (国連) との連携も緊密に行われ、世界健康専門職のメンバーで、非感染性疾患機構のパートナーでもある。FDIの会員は191の各国歯科医師会よりなり、メンバーは百万人を超えている。FDIのビジョンとミッションは、歯科専門医と関係者が全世界の人々の口腔健康を良くすることである。

II. FDIの活動地域と会員のサポート

FDIは、以下の5地域に分け活動している。

- *African Regional Organization (ARO)*
12億8800万人
- *Asia Pacific Regional Organization (APRO)*
45億8600万人
- *European Regional Organization (ERO)*
7億4300万人
- *Latin American Regional Organization (LARO)*

6億5200万人

- *North American Regional Organization (NARO)*
3億640万人

上記地域の会員の支援として、FDIでは、継続学習を25か国で30以上のイベントを行い、多くの国で死因となる非感染性疾患に対するサポートとアドバイス、さらには政策声明とガイドライン並びにネット等を通じて多くの情報を流している (図2)。また、世界口腔健康デーとして3月20日には、多くの国においてイベントが開催されている。これら全ての情報はネットにて見ることができる (図3)。

III. FDIのガバナンス

FDIの役員会は、理事会とその中の、管理委員会、財務委員会、報酬委員会よりなり、下部組織として、歯科治療委員会、教育委員会、公衆衛生委員会、学術委員会、会員サポート委員会の5つがあり、さらに多くのワーキンググループ、タスクチームがある。また、年に一度は諸国において総会が開催される (図4)。

IV. 口腔健康

FDI設立者のCharles Godonは、当時の声明として次のように述べている。

- *The dentist is a little like a sentinel at the door of the human citadel: often it is he who sounds the first alarm that the whole organism is in danger.*

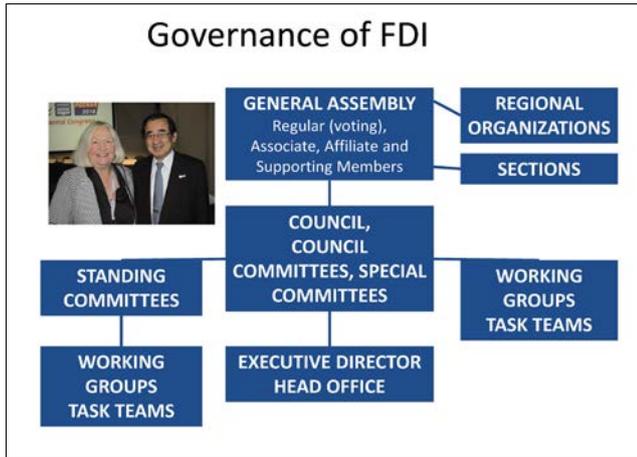


図4 FDIガバナンス

Fig. 4 Governance of FDI

意識すれば、歯科医は、人間の砦の門番に似ている。生体が危険に曝されると、しばしば警鐘を鳴らすからだ、となるだろうか。今では、口腔健康から全身健康へのフレーズが歯科界を席卷している感があるが、Godon博士は1900年に先を見越していたとも言える。2015年には世界アトラスを発行し、その中で、FDIは、2012年のFDI総会で公表された「Vision2020」

に基づき、2016年9月に新たな「口腔保健の定義」を提案した。

「口腔の健康は、多面的であり、話す、笑う、香りを感じる、味わう、触れる、噛む、飲み込む能力と、自信のある表情を通じた感情を伝える能力を含み、しかも頭蓋顔面領域の疾患、疼痛、不快感がない状態である。そして、口腔の健康の更なる特性は、健康および身体的・精神的な幸福の基本的な要素である。そしてそれは個人とコミュニティーの価値や態度によって持続的に影響を受けながら存在している。さらに、生理的、社会的、心理的価値を反映し、QOLの維持に必須の要素である。また個人の経験、知覚、期待および環境への適応能力によって影響される」。

V. 最後に

世界には75億を越す人間がいる。しかし、社会的・経済的・宗教的などの側面から必ずしも同じ土俵で話をすることはできない。ICDの会員諸氏が世界的に口腔健康から全身健康へ貢献して頂くことを切に願う。

Future Dentistry in the World —A Path from International Exchange to International Activities—

Takashi INOUE, D.D.S., Ph.D.

Professor of the Department of Clinical Pathophysiology, Tokyo Dental College

With various changes in the environment surrounding developed countries, including severe international competitions and social/economic/technological developments, the dental health environments in these countries have been changing at a significant rate. Furthermore, an increasing number of developing countries have been actively promoting oral health.

In both developed and developing countries, dentistry for the maintenance of the health of people and training of dentists to support it will become more important, with a shift from conventional dental treatment to preventive dentistry and dental management, and a shift from oral to systemic health. These changes are necessary for people around the world.

A long period of time has passed since the significance of “internationalization” was first proposed. For “internationalization” in a real sense, specific “international activities” should be implemented, rather than simply visiting foreign countries or mere “international exchange”. In other words, cooperative systems in the field of dentistry must be developed among countries. It is necessary for Japan and other developed countries to accept educators, researchers, and clinicians from abroad at core centers for dentistry. Therefore, training of people who fulfill these roles should be promoted in Japan.

Key words : FDI, Oral Health, International Activity, Developing Country